

令和6年度 久留米商業高等学校 人権・同和教育年間指導計画（カリキュラム）

目標	「自他を大切にすることや態度を養い、共に社会を生き抜く力や差別を無くすために行動する力、自他の人権を守ろうとする力を育成する。」			
学年	年間主題	到達目標	学期	学習内容
一 学 年	中学時の学習をふまえ、差別の実態とこれからの自分を見つめなおす	身近な人権課題に関して学習し、差別をなくす行動を行うことができる。 また、当事者との出会いの場を仕組み、様々な人権問題を自分事としてとらえる心や態度を養う。	前期	①中学時の学習の振り返り、身近な差別について自分自身について問う 様々な人権課題について知る。(SNSの問題を中心に)
			後期	②③④⑤【性の多様性について】 性の多様性について正しいことを知り、認識を深める。 当事者との出会いを通して、身近なところに差別があることを知る。 当事者との出会いを振り返り、自分の考えの変化に気づき、自分に何が出来るのかに気づく。 年間のまとめ 自分を振り返り、自分の課題に気づき、人権・部落問題は自分たちの問題であることと、学ぶ意義を再度確認する。
二 学 年	1学年時の学習をふまえ、部落差別の実態に迫り、当事者の思いに共感する心や、部落差別を解消していく態度を養う	主に、部落差別の歴史的背景や現実を学ぶことで、部落差別のおかしさに気づき、解消する気持ちや態度を養う。 また、差別の中で闘ってきた人々の思いに触れ、共感し、将来に展望が持てる心を育て、差別をなくす行動ができるような技能や態度を育てる。	前期	① 部落問題について1「中学校で学習した内容の振り返り、部落差別の現実と差別をなくすための取組を知る」 小中学校での部落問題学習を振り返り、部落差別を学ぶ意義を学習する。(教材は、はなしてくれてありがとう) 部落問題は、現代の問題であることをきちんと認識し、「自分ごと」としてとらえる。 それぞれが学んできた知識などを共有し、部落問題についての認識を深める。 【同和对策審議会答申・部落差別解消推進法・久留米市人権・同和问题市民意識調査】
			後期	② 部落問題について2「部落差別の歴史を知る①」 近世の歴史を学び、正しい歴史認識を身につける。(知識的理解) ③ 部落問題について3「部落差別の歴史を知る②」 明治以降の歴史を学び、正しい歴史認識を身につけ、差別と闘ってきた人々の思いを知る。 (知識的理解・共感的理解)【解放令・全国水平社結成前】 ④ 部落問題について4「部落差別の歴史を知る③・1年間のふりかえり」 「差別と闘ってきた人々の思いを知り、部落差別をなくすために、自分たちにできることを考える」 部落差別をはじめあらゆる差別をなくしていこうとするために何が出来るかを考える。 【全国水平社宣言・現代の部落差別】
三 学 年	3年間の学習をふまえ、差別のない社会を目指し、その一員として行動できる力をつける	就職差別など、自らの進路決定に関係の深い差別問題を学ぶことを通して、部落差別をはじめとするあらゆる差別問題や人権侵害は、身近な問題で自分の問題だという事を自覚する。 また、これから差別を無くす主体者(人権のまちづくりの主体者)として生きていくために、どう考え行動すべきか、実践力を養う。	前期	①前年度の学習のふりかえり(水平社宣言)、就職差別・統一応募用紙の意義 全国水平社の創立運動に学び、『水平社宣言』に込められた、差別されてきた人々の思いを知り、自分自身や自分たちの生き方について考える。 全国統一応募用紙は、「すべての人が生きやすい世の中になるように」という願いで出来たものであると理解する。 ②就職差別-公正な採用選考 違反質問等、就職差別の実態を知り、就職試験や進学試験の際どう行動するか考えるとともに、今後の自分の生き方や暮らしと重ね合わせる。
			後期	③当事者との出会い-社会での取り組み 当事者と出会うことで、人権教育は社会に出てからも学び続けるものという認識を深めるとともに、一社会となり人権のまちづくりの主体者としてどう生きていくか、具体的行動を考える。 ④「当事者との出会い」等で学習したことのふりかえりを通して、3年間の学習のまとめをする。